

保護者のための

多様な学び ガイドブック



お子様一人一人に合った
多様な学びを支援するために

川西市教育委員会
川西市こども未来部

保護者のみなさまへ

お子様を取り巻く環境は、大きく変化しており、学校という環境に馴染みにくいと感じている子どもたちもいます。

学校へ再び登校することを目指すのも大切な選択肢の一つですが、『社会的に自立する』ことを目指し、お子様にあった多様な学びの場と一緒に探していきましょう。また、お子様や保護者のみなさまにとって安心できる相談機関と連携を図っていきましょう。

「社会的に自立する」とは

本県では、「社会の中で、他者との関係性を保ちながら、自分の意思と判断で、自分の進路を拓くことができる」と考えています。

適切に依存したり、他者の力を借りたりして、自己肯定感を少しでも高め、自分でできることを広げていくことが、自立への第一歩であるといえます。

【兵庫県教育委員会ホームページより引用】

相談しやすい窓口へ

まずはお子様の気持ちを受け止め、丁寧に話を聞くことが大切です。もし話したがらない場合は無理に聞こうとせず、相談しやすい窓口へ繋ぎましょう。学校に相談する場合、担任の先生に相談をすることが多いと思いますが、話しやすい先生に相談することもできます。お子様と関係ができている先生も選択肢の一つに入れてみるのもいいでしょう。

学校はチームで支援します

担任一人ではできないことも、他の教職員等とチームを組み、役割分担することで、支援の幅や可能性を広げていきます。

支援チームの構成員(例)

学級担任、管理職、生徒指導・不登校担当教員、養護教諭、学年主任及び学年の担任団、その他関係職員、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)等

各学校の取り組み

○L-Gate「毎日の記録（こころとからだの記録）」

一人一台タブレットによる心身の健康記録を実施しています。

○校内サポートルーム

登校は出来るが、教室に入りにくい等のお子様の居場所です。支援員もおり、タブレットを使った学習など、自分のペースで過ごせる環境を用意しています。ご利用についてはお子様の所属校へお問い合わせください。

○タブレット等を活用した家庭内での学習支援

希望するお子様に授業を配信するほか、デジタルドリルを活用した学習支援をおこなっています。

○家庭訪問・電話連絡

教職員、SSWが家庭訪問を行い、連絡事項の伝達やお子様及び家庭での困りごとを聞き取り、児童・生徒の様子の確認や関係づくりに努めます。

○スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)による 面談など心理面等からの支援

お子様や保護者に対して、心の専門家であるSCがカウンセリングを行い、SSWは社会福祉の専門家として支援します。面談ご希望の際は、お子様の所属校へお問い合わせください。



SSWについて
(こども若者相談センター)



SCについて
(文科省HP)

ご相談につきましては、まずお子様の所属校へお問い合わせください。



川西市教育委員会の取り組み

学びのスペース「セオリア」

川西市内在住の小・中学生のための居場所です。通室日は学校へ出席報告を行ないます。所属の学校長判断で「出席」として扱います。



- ◇家から外出はできるが、学校には行きにくい小・中学生のための居場所です。
- ◇小集団による体験的な活動や学習活動を通して、自立心や社会性を養います。
- ◇相談員や学生ボランティアが関わります。
- ◇入室生について、状況に応じ、家庭訪問を行います。



	月	火	水	木	金
9:30	セオリアでの活動	セオリアでの活動	11:00 運動 12:30	セオリアでの活動	セオリアでの活動
14:30					

「ほっと・おしゃべり会」

月に1回、保護者としての思いや悩みを話し合い、交流する会を開催しています。

見学・体験等ご希望の際は
ご連絡ください。

TEL : 072-758-1728

※見学・体験終了後、入室許可申請書の発行はお子様の所属学校となります。



詳しくはこちらをご覧ください。

多様な学びの場について



お子様の状況によって、「学びを止めない支援」も必要となります。校内サポートルームや学びのスペース「セオリア」以外にも県内には様々な学びの場があります。フリースクールでの学習や活動の内容を確認し、所属学校長の判断で「出席」として扱います。

※義務教育終了後の居場所についても掲載しています。

○兵庫県内でお子様の状況やニーズに合わせた施設をお探しの際は以下のQRコードを読み取ってください



児童生徒が通うフリースクール等民間施設（兵庫県教育委員会HPより）

○県立但馬やまびこの郷

短期宿泊体験活動（宿泊、調理、制作、スポーツなど）

対象児童生徒：不登校または不登校傾向の小・中学生。

Tel：079 - 676 - 4724



施設紹介パンフレットはこちら

相談機関

詳しい情報については
QRコードから、ご覧ください。



○教育相談（こども若者相談センター）

18歳までのお子様と、その保護者に対して臨床心理士が教育相談を行います。

平日 午前9時～正午、午後0時45分～午後5時
TEL : 072-757-8080



○こども悩み電話相談（こども若者相談センター）

子ども専用の電話相談です。相談員が悩みを聴き、相談を行います。

平日 午前9時～12時、12時45分～午後5時
TEL : 072-758-7830



○子どもの人権オンブズパーソン（第3者機関）

悩んでいる子どもたちを家族や教職員とはちがった立場で、支援するための機関です。

平日 午前10時から午後6時
TEL : 0120-197-505



○ひょうごっ子悩み相談（電話・面談）

児童生徒のSOS全般を相談できます。
（オンラインでの相談も可）



○ひょうごっ子SNS悩み相談（LINE・WEB）

児童生徒にとって、身近なLINEやWEBを使って相談できます。（児童生徒のみ）



○ほっとらいん相談（電話）

兵庫ひきこもり相談支援センターの専門スタッフと電話で相談できます。



川西市内の相談機関

兵庫県内の相談機関

中学校卒業後の進路について

進路を選ぶ際は、まずお子様に合った雰囲気や学びのスタイル・サポート体制が充実している進路先を見つけることが重要となります。

高等学校

全日制高校

平日の昼間に毎日学校に通い、朝から夕方まで授業を受ける高校です。学校それぞれに特徴があります。

通信制高校

登校日数や学習スタイルに柔軟性があります。学校によっては、お子様の興味関心に合うような学習ができます。

定時制高校

夜間の学校のイメージもあるとは思いますが、多部制では、朝や昼から登校し、学ぶ時間を選ぶこともできます。

特別支援学校

障がい種別による、少人数での教育を受けることができます。各教科等に加え、「自立活動」の指導を実施。障がいの状態等に応じた弾力的な教育課程が編成されています。

高等専門学校

入学後は5年一貫で、一般科目と専門科目をバランス良く配置した教育課程により、技術者に必要な豊かな教養と体系的な専門知識を身に付けることができます。

高等専修学校

社会に出てすぐに役立ち実践的な職業教育を行い、いろいろな分野でのスペシャリストを養成しています。

就職・職業訓練校

社会に出る場合は、就職や職業訓練校が選択肢となります。実践的なスキルを学び、資格を取得して早期の自立を目指すことができます。

サポート校（フリースクール）

個別指導やメンタルサポートを提供するサポート校は、通信制高校と併用することで、学習面でも心のケアでも安心して学べる環境です。

高等学校卒業程度認定試験

高校を卒業せずに、大学や専門学校への進学資格を得られる試験です。

※進学先の学校ではありません。



進路先を調べるにあたり、いろいろな学校が一同に集まる合同説明会が年に何回も各地で開催されています。合同説明会で希望に応じた学校を絞り、別日程で現地校を見学に行くことができます。説明会ではその場で、お子様の状況に応じて、相談にのってくれたり、アドバイスをしてくれる学校もあります。

検索の仕方

例) 通信制 高校 合同説明会 三宮





【編集・発行】

川西市教育委員会事務局 教育推進部 教育保育課
〒 666-8501
川西市中央町12番1号 (川西市役所3階)
Tel 072-740-1254

川西市こども未来部 こども若者相談センター
〒 666-0017
川西市火打1丁目12番16号 (キセラ川西プラザ福祉棟2階)
Tel 072-758-8680